

# 黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長: シェカール・メータ  
 第 2550 地区ガバナー: 石田順一  
 事務所: 〒325-0826 宇都宮市西原町 142  
 宇都宮グランドホテル内  
 TEL: 028-651-2550  
 FAX: 028-651-2551  
 E-mail: [m2550@agate.plala.or.jp](mailto:m2550@agate.plala.or.jp)



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会長: 荒牧明二 幹事: 安藤譲治  
 事務局: 倉健サロンの塩梅  
 代表: 安藤譲治  
 〒325-0055 那須塩原市宮町2-8  
 TEL: 0287-73-5101 FAX: 0287-73-5102  
 E-mail: [hideki\\_akiba@akibacorp.com](mailto:hideki_akiba@akibacorp.com)  
 例会: 国民の祝日を含まない週の水曜日  
 12:30 - 13:30  
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

## 第2927回 荒牧年度 第1回 会報 2021-7-7 司会村山茂君

### 🌀 会長挨拶 荒牧明二会長



皆様今日は、今年1年間よろしくお願ひ申し上げます。そして、大島三千三直前会長並びに秋葉秀樹幹事には、1年間大変ご苦労様でした。秋葉幹事は、二度目の担当でした。心から感謝を申し上げます。

現在、国際ロータリークラブ2550地区の事務所が決まっておりますが、各委員会への報告事項、Zoomでの会合等の連絡が届いております。各委員長の皆様ご対応宜しく御願ひします。また、今年度の計画にもう一つ大きなイベントがあります。先程鈴木隆子青年委員長から報告がありました通り、青少年委員会担当のインターアクトクラブの年次大会が黒磯高等学校の担当になっています。インターアクトのメンバーは少ないですが大成功の年次大会にしたいと思ひます。

また、会員の皆様の協力を頂き大成功したいと思ひます。そして、インターアクトのメンバーが一人でも増えますことをご祈念して挨拶にかえたいと思ひます。

### 🌀 退任挨拶 前田貴宏君

この度、転勤によりやむを得ず退会させていただきましたことになりました。



黒磯ロータリークラブの皆様には、入会時より温かく迎えて頂き、また、委員会活動につきましては、色々ご指導賜りました。2年9ヶ月という短い間でしたが、皆様と出会い共に活動できましたこと本当に嬉しく思っております。

那珂川水質検査で三斗小屋温泉に泊まれたことは、私の心に残る思い出となりました。心より感謝申し上げます。

最後に黒磯ロータリークラブの益々のご繁栄と会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げまして退会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

### 🌀 新任挨拶 渡辺裕雄君



出席報告 出席委員会 平山博君 (出席規定の免除会員数7名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 7月7日	37 (7)	32 (6)	5 (1)	89%		
前回 6月23日	37 (7)	28	9	76%	3	92%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)  
 メール [gavn2bz9k@sound.ocn.ne.jp](mailto:gavn2bz9k@sound.ocn.ne.jp)

栃木銀行黒磯支店の渡辺です。伝統ある黒磯ロータリークラブに入会させていただき、大変有難うございます。私はこのような会に入会するのは初めてであります。分からないことばかりですが皆様からご指導頂きながら一生懸命努めさせていただきます。宜しくお願い致します。



### 幹事報告 安藤讓治幹事



- 地区職業奉仕委員会より職業奉仕アンケートが届いています。時庭稔職業奉仕委員長に転送いたしました。
  - 地区例会プログラム委員会より、20-21年度前期・後期分のプログラム提出依頼が届いています。私の方で対応いたします。
  - 地区大会冊子掲載用報告依頼が届いています。私の方で対応いたします。
  - 地区国際奉仕委員会より、アンケートの結果集計が届いています。泉道夫国際奉仕委員長に転送いたしました。
- 最後に、本日例会終了後、第3回理事役員会があります。理事役員の方はお残り下さい。
- 地区より、熱海豪雨災害支援金のお願いが届いています。今日の理事役員会で検討いたします。
  - 西那須野ロータリークラブより会報が届いています。現在回覧中です。
  - 栃木いのちの電話事務局より事業案内が届いています。現在回覧中です。

(理事役員会報告)

#### 第1回

- 2021-22 荒牧年度、理事役員担当職務について承認されています。
- 2021-22 荒牧年度、委員会等組織編成について承認されています。
- ハイブリッド例会の開催方法及び担当委員会について。継続審議いたします。
- 創立60周年事業の実行委員長に田中徹さんを選任いたしました。
- 荒牧会長より、例会を充実させるため、外来卓話を積極的にお願いします。

#### 第2回

- 年間プログラム・7月のプログラムについて承認されています。
- 2021-22 荒牧年度、予算について承認されています。
- 各委員会の引継ぎについて、6月2日例会終了後に開催することで承認されています。
- 荒牧会長の強い要望もあり、今回の予算で万国旗と役員の上プレートを購入させて頂きました。

(幹事報告)

- 1年交換学生の案内が届いています。鈴木隆子青少年奉仕委員長に転送しました。
- クラブ米山委員長研修会の資料が届いています。鈴木久雄米山委員長にお渡ししました。
- 地区国際奉仕委員会より国際奉仕アンケートが届いています。泉道夫国際奉仕委員長に転送しました。



### 結婚祝い 誕生祝い 片田航介親睦委員長



- 7月誕生祝い  
植竹一裕君 荒井昌一君(欠席)



●7月結婚祝い

片田航介君 小野安正君(欠席)



🌀 委員会報告 稲垣政一副会長



本年度クラブ奉仕委員長を仰せつかりました稲垣です。1年間宜しくお願いします。

委員会報告の時間です。報告のある委員会は挙手願います。

🌀 相馬征志君



クラブ定款細則検討委員会の皆様、例会終了後にお集まり頂きたいと思います。お時間は取らせませんのでご参加宜しくお願いします。

🌀 鈴木隆子君

本年度青少年委員長を務めさせていただきました鈴木です。どうぞよろしくお願い致します。

今年は黒磯高校インターアクトクラブがホスト校となりましてインターアクト年次大会がございます。

日にちは8月9日に決定していきまして、形態は

コロナの影響もございましてZOOMで行われることになっています。現在、各学校とロータリークラブにガバナー事務所を通じまして案内状をお出ししてあります。内容は、基調講演を1時間半位で、その後各学校の活動報告発表という形で計画しています。基調講演につきましては、高校生達のSDGsについて勉強したいとの希望により、秋間さんと澤田さんにお骨折りいただいて東洋大学名誉教授の石井晴夫先生にお願いする事が出来ました。これからZOOMでの会議の進め方等も含め色々決めていかなければならないことも多々ございます。皆様のお力をお借りしなければならぬ事が色々出て参る事と思います。どうぞご協力いただけますようよろしくお願い致します。

🌀 高木慶一君



荒牧年度ゴルフ愛好会からご連絡申し上げたいと思います。荒牧年度ゴルフ愛好会会長を仰せつかりました高木でございます。

副会長に植竹一裕さん、秋間忍さん、ゴルフ委員に和気勝利さん宜しくお願いしたいと思います。次回例会で愛好会の会員の確認をしたいと思います。回覧致しますので、是非退会なさらず、お待ちしていますので宜しくお願い致します。

😊 ニコニコボックス委員会  
瀧田雅仁委員長



- 秋間 忍君 荒牧丸の出帆を祝して
- 石山桂子君 荒牧年度の船出を祝って
- 吉光寺政雄君 荒牧会長安藤幹事の船出を祝して
- 瀬尾紀夫君 荒牧年度のスタートを祝しまして
- 大島三千三君 荒牧会長の船出を祝福いたしました
- 澤田吉夫君 荒牧年度の門出を祝して
- 相馬征志君 荒牧丸の船出を祝して
- 植竹一裕君 荒牧年度もよろしくお願い致します
- 稲垣政一君 輝かしい船出を祝しまして
- 村山茂君 荒牧年度の船出を祝して
- 荒牧明二君 一年間宜しく申し上げます
- 鳥居輝一君 荒牧年度の船出を祝して
- 平山博君 荒牧年度の門出を祝して
- 瀧田雅仁君 荒牧年度の船出を祝して

**新年度方針 会長 副会長 幹事  
司会 安藤讓治幹事**



**荒牧明二会長**

皆様、改めましてこんにちは。2021~22年度会長を担わせていただきます荒牧明二でございます。最初の例会挨拶ということで、いささか緊張しております。理事役員一同力を併せて努めてまいりますので、1年間よろしく願ひいたします。

会長方針は、6月23日にお話しました通りです。会長挨拶は、先日の先代の話の通り大変プレッシャーが掛かると思っています。難しいことには触れないで、折に触れて感じた事、地区ロータリーの行事、話題のニュース等思いのままに気になりました事をお話したいと思ひます。

今日は、近年よく言われます。食品ロス、「食品ロス」とは、本来たべられるのに捨てられてしまう食品をいいます、食べ物を捨てることはもったいない、環境にも悪い影響を与えてしまう。

日本ではどれくらいの食品ロスが発生しているか。日本の食品廃棄物等は年間2,531万トン、その中で本来食べられるのに捨てられる食品「食品ロス」の量は年間600万トンになっています。

日本人一人当たりの食品ロス量は1年で約47kgです。これは日本人1人当たりが毎日おにぎり一個を捨てていると同じ量になります。食品ロスには事業活動を伴って発生する事業系食品ロスと、各家庭から発生する家庭系食品ロスがあります。

600万トンの内訳は、事業系食品ロスは324万トン、家庭系食品ロスは276万トンとなっています。

ちなみに世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量(2019年で年間420万トン)の1.4倍に相当します。日本人は飽食ですね。食べ物を無駄にしています。

世界に目を向けても、食品の総生産量の約3分の1である13億トンが食品ロスを含む食料廃棄物となっています。

私の家でも妻が年末に冷蔵庫を片付けていますが。市の指定のごみ袋に約半分位廃棄しています。もったいないと思ひます。

那須塩原市において直接搬入するごみ処理手数料は10kgにつき150円かかるそうです。

資源ごみ、可燃ごみはゴミ袋を使用した場合無料、剪定枝長さ50cm太さ5cm以内無料、粗大ごみ2tダンプ1台5000円かかるそうです。

ちなみに那須塩原市で1年間のごみその他含めて排出量は44,000t~45,000tのごみができるそうです。年間のごみ処理経費は全てを含んで11億円かかっているそうです。

食品ロスを減らすには、家で食品ロスが出ないようにするだけでなく、食べ物を買うお店、食べるお店でも食品ロスを減らす意識をすることが大切です。例えば、食べ物を買うお店や食べるお店では、奥から商品を取らずに、陳列されている賞味期限の順番に買うこと、包装資材(段ボール)ごと買う商品は、ちょっとのキズ、汚れが

あっても、中身に問題が無ければそのまま買ったり、賞味期限の近い値引き商品を買ったり、食べきれ分量を注文して、食べ残しを出さず、みんなのちょっとした行動が食品ロスを減らすことになります。私たちも心がけたいと思います。

こうした行動は、広い目で見れば、食料資源の有効利用や地球温暖化(生ごみの処分にも燃料を使用しています)の抑制に繋がって、みんなの生活を守ることに繋がると思います。

食品産業では、食品廃棄物等の発生自体を減らす「発生抑制」の取組が重要であり、平成24年4月に食品リサイクル法にもとづく「発生抑制の目標値」が設定されました。

農林水産省と環境省の目標値によりますと、平成24年4月から16業種に目標値を設定しております。抜粋しますと、肉加工品製造業 売上百万円当り113kg、ソース製造業 製造量1tあたり59.9kg、コンビニエンスストア 売上百万円当り44.1kg以内に抑えることになっています。

食品廃棄物等の単位当りの発生量がこの目標値以下になるよう努力する。また、既に目標値を達成している事業者の皆さんは、引き続き、単位あたりの発生量の維持または低減に努めるように御願いされています。

食料自給率38%の日本において、輸入に頼る日本の国民の一人として、食料のみならず全てに気をつけて、無駄を極力減らして、行動したいと思います。「美味しさ長く廃棄は少なく」結びになります。本日からいよいよスタートでございますので、皆様のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。ご清聴有難うございました。

## 🌀 植竹一裕副会長



荒牧年度会長エレクトを拝命しました植竹です。国際ロータリークラブ会長のテーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」となっております。目標として「会員を増やしてロータリーの参加者基盤を広げる」「世界に奉仕してより大きなインパクトをもたらす」となっております。この大きな目標に向かうために荒牧会長は7項目の計画を掲げられました。

1. 例会の充実・楽しい親睦行事の実施
2. 全会員参加を目標とした奉仕活動の充実
3. 参加基盤を広げる意味での会員増強 純増2名
4. 米山記念奨学会 19,000円/1人
5. ロータリー財団の寄付目標達成US \$ 180/1人
6. 大島年度からの継承事業として、創立60周年記念事業の開催
7. ハイブリッド例会の推進となります。

昨今のコロナ禍で例年通りの活動が非常に厳しい状況ではありますが、この目標に向かう一助を担いたいと思っております。荒牧会長が行動し易い様に、幹事とは異なる潤滑油として邁進してまいります。

また、次年度に向け改めて会長職としての役割を一年かけて勉強させていただくつもりであります。

今まで以上に黒磯クラブメンバーからのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。



## 稲垣政一副会長 兼クラブ奉仕委員長



荒牧年度副会長を仰せつかりました稲垣です。

国際ロータリークラブ会長シェカール・メータ氏は「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」をテーマに掲げ、第2550地区石田順一ガバナーは「未来のクラブを描きましょう」をテーマとし、「増強は最大の社会貢献である。ロータリー奉仕デーの実施」を掲げました。

これらを踏まえて、荒牧会長は奉仕と増強の実践により楽しいクラブ作り、更なる活性化と魅力あるクラブづくりを掲げております。この目標達成のため、副会長として、荒牧会長の手足となって活動してまいりますので、皆様のご指導ご協力よろしく申し上げます。

またクラブ奉仕委員長として、同じく目標達成のため各委員会との調整をはかりまして、黒磯ロータリークラブが今まで以上に魅力あるクラブとなるよう、次の目標を掲げました。

1. 例会の更なる充実
2. 会員相互の親睦の推進
3. 会員の増強
4. 60周年記念式典の開催

目標達成の為、クラブ奉仕委員会の活動へもご指導ご協力よろしくお願ひします。

なお、この場をお借りしまして、各クラブ奉仕委員会の委員長さんにご案内でございます。7月28日第3回例会に於いて、本年度事業計画の発表をお願いいたします。

発表の順番は

1. クラブ奉仕委員長
2. 親睦委員会
3. 出席委員会
4. プログラム委員会
5. 広報委員会
6. スマイルボックス委員会
7. 会報委員会
8. クラブ史料委員会
9. 雑誌委員
10. ローターリー情報委員会
11. 会員増強委員会
12. 会員選考/職業分類委員会

となりますので宜しくお願ひします。

以上、新年度方針でした。1年間宜しくお願いします。

#### 安藤讓治幹事



今年1年間幹事を拝命いたしました。まだわからないことも多いので、皆様にはご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、よろしくご指導お願ひします。

荒牧会長は、「例会の充実・楽しい親睦行事の実施・ハイブリッド例会の推進等」を目標に掲げています。外来卓話を増やしたり、通常の例会に加えて例会をZOOM配信してハイブリッド化するなど、例会を充実していくため、会長をサポートしていきます。また、新型コロナも落ち着きませんが、ワクチンの接種も進んでいきますので、今までより

7月7日欠席(敬称略)

北畠大輔 鈴木久雄 小野安正 藤崎善隆 荒井昌一

は夜間例会などの親睦行事も行える機会が増えていくと思いますので、皆様のご協力をお願い致します。

それから、色々な連絡ですが、訃報等はメールとファックス両方送らせて頂きますが、その他の通常の連絡は、メールだけでなくファックスも希望される方にはファックスも使って連絡したいと思います。皆様にご希望を聞きましたが、変更したいときには遠慮なく言って下さい。

また、ガバナー公式訪問が9月29日になっています。それまでには現況報告書を完成させたいと思います。いろいろな書類をお願いする方もいると思いますがご協力お願ひします。

今年度は、60周年記念事業やインターアクト年次大会があります。特に黒磯高校インターアクトクラブが年次大会のホスト校になっているので、8月9日(月)の年次大会まであと一ヶ月しかありません。

これから皆様にもお手伝い頂くことがあると思いますが、よろしくお願ひします。最後に、マイローターリーへの登録がお済でない方がいらっやいましたら、早めに登録をお願い致します。登録方法がよくわからない場合はお手伝いしますので、遠慮なく言って下さい。以上で幹事の新年度方針発表を終わります。

#### 出席報告 平山博出席委員長



#### SAA 村山茂君



前回6月23日分メークアップ(敬称略)

泉道夫 高木茂 瀧田雅仁

次回例会 令和3年7月14日 担当五大奉仕委員会 SAA 財団 米山

#### 近隣クラブ例会日

○火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028  
○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

#### 近隣クラブ例会日

○木曜日 大田原/ホテル花月 0287-54-1105  
○金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：吉光寺政雄・鳥居輝一・高木慶一・瀧田雅仁・藤崎善隆

2021-22 年度テーマ講演

RI 会長エレクト

シェカール・メータ

2021 年 2 月 1 日

Rotary



ナマステ。ロータリーの世界各地から集まった「Movers and Shakers」の皆さん、こんにちは。地区ガバナーエレクトである皆さんはMovers(動かす人たち)であり、私は「シェカール」です。

今日、皆さんは、奉仕とリーダーシップの旅路において、とても大切な一歩を踏み出します。これからの17カ月間は、皆さんの人生で最も素晴らしく、実りあるときとなるでしょう。この期間を、人生で最も充実したときとすることができます。この期間には、私たちが共有するロータリーのビジョンに導かれながら、大きな夢に向かってくださるようお願いいたします。皆さんは、計画を立て、目標を定め、その目標を達成するようロータリアンにインスピレーションを与えてやる気を引き出します。その目標とは、会員を増やしてロータリーの参加者基盤を広げるとい目標、そして、世界に奉仕してより大きなインパクトをもたらすという目標です。この旅路において、皆さんは、地区のロータリアンおよびローターアクターと目標を分かちあい、「もっと行動し、もっと成長する」ための意欲を喚起するという大きな役割を担います。これは、私たちを導く信念です。

「もっと行動し」とは、より大きく、インパクトをもたらす奉仕プロジェクトを意味します。「もっと成長する」とは、会員を増やし、参加者基盤を広げることの意味します。

会員増強は引き続き、最も大きな課題です。過去17年以上、ロータリーの会員数は120万人のまま横ばいとなっています。力を合わせて、これからの17カ月間でこれを変えようではありませんか。変革者であるガバナーの皆さんには、会員増強という点で、今、ロータリー史上最大の変革をもたらす機会が訪れています。過去17年間にロータリーが達成できなかったことを、今後17カ月間に達成することにチャレンジしてください。

そんな夢は大きすぎる、とおっしゃるかもしれません。「夢は大きく」と私からお願いするのであれば、私自身が先頭に立たなければなりません。私がインスピレーションを受けた言葉の一つに、ジョージ・バーナード・ショーの次の言葉があります。「存在するものだけを見て、『なぜそうなのか』と考える人もいます。しかし私は、いまだかつて存在しないものを夢見て、『なぜそうでないのか』と考える」

ですから皆さん、夢は、2022年7月1日までに会員数を130万人に増やすことです。この信じられないような目標をどのように達成できるでしょうか。その答えは、「each one, bring one」、つまり、今後17カ月間に各ロータリアンが新会員一人を入会させるようお願いすることです。皆さんがすべきことは、17カ月間にたった一人を入会させるよう、地区のすべてのロータリアンにお願いするだけです。皆さんご自身が模範を示し、また地区内のクラブ会長にも模範を示してもらうことで、これを確実にできます。全クラブのロータリアンがこれを実行すれば、そのそれぞれが「変革者」となり、新たにロータリアンとなる人の人生を永遠に変えることになるのです。

ガバナーエレクトの皆さん、私たちは、「もっと行動する」ために「もっと成長する」必要があります。私は常に、「超私の奉仕」というロータリーの標語に大きな感銘を受けてきました。この言葉は、人びとを思いやり、分かち合うことの大切さを教えてくれました。私にとって奉仕とは、自分よりもほかの人のことを先に考えることです。これについて、ロータリーでの私自身の体験をご紹介したいと思います。

ロータリークラブに入会したばかりの頃、手足が不自由な人のためのキャンプをクラブが実施しました。クラブはそこで、足の矯正具や義肢、ハンドサイクルを配布しました。全会員が役割を分担し、私の担当は、ハンドサイクルを受け取る人が、手で車輪をこぐ力があるかどうかを確認することでした。手を引っ張ってもらい、相手の力を測るのです。私は、担当場所に立ち、ハンドサイクルを受け取りに来る人を待っていました。すると、ある人が地を這って私に近づいてきました。その人は足がなく、這うことしかできなかったのです。

私は彼に向かって手を差し出しましたが、その瞬間、正直なところ、私の頭にあったのはその人のことではなく、自分のことでした。自分の清潔さや健康について考えたのです。彼の手を握りたくありませんでした。しかし、彼の手を握り、その後もやって来る人2、3人の手を握りながら、自分のことだけを考えていました。しかし、6、7人目の後に突然、この人たちが抱える苦境に共感し、彼らの痛みと困難を感じ、自分よりも彼らのことを考えるようになったのです。その瞬間、私は、単なるロータリークラブ会員から、ロータリアンになったのです。

その後間もなく、もっと多くのプロジェクトに参加するようになりました。35年前、ロータリアンとして初めてインドの僻村に足を運んだとき、同胞たちが抱える苦境を真に理解しました。彼らの家にはトイレがなく、水浴びをするのと同じ池の水を飲み、一本の樹の木陰を学校として使い、唯一の黒板は黒いペンキを塗った壁でした。一番近い保健センターは数マイル先で、ごく基本的な設備しかありません。

。私たちは、ロータリークラブを通じて、トイレを設置し、安全な飲み水を 提供し、教育システムを改善し、世界級の医療設備を整えました。しかも、地元地域だけでなく、国中で。

私は彼に向かって手を差し出しましたが、その瞬間、正直なところ、私の頭にあったのはその人のことではなく、自分のことでした。自分の清潔さや健康について考えたのです。彼の手を握りたくありませんでした。しかし、彼の手を握り、その後もやって来る人2、3人の手を握りながら、自分のことだけを考えていました。しかし、6、7人目の後に突然、この人たちが抱える苦境に共感し、彼らの痛みと困難を感じ、自分よりも彼らのことを考えるようになったのです。その瞬間、私は、単なるロータリークラブ会員から、ロータリアンになったのです。

その後間もなく、もっと多くのプロジェクトに参加するようになりました。35年前、ロータリアンとして初めてインドの僻村に足を運んだとき、同胞たちが抱える苦境を真に理解しました。彼らの家にはトイレがなく、水浴びをするのと同じ池の水を飲み、一本の樹の木陰を学校として使い、唯一の黒板は黒いペンキを塗った壁でした。一番近い保健センターは数マイル先で、ごく基本的な設備しかありません。私たちは、ロータリークラブを通じて、トイレを設置し、安全な飲み水を 提供し、教育システムを改善し、世界級の医療設備を整えました。しかも、地元地域だけでなく、国中で。

ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを超えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました。奉仕が私の生き方となったのです。多くの方々と同じように、「奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である」という信条を持つようになりました。模範的な賃借人でありたいと思っています。皆さんも、それぞれが奉仕の機会を見出されたことでしょう。目の不自由な人に見る力を与え、お腹を空かせた人に食べ物を与え、ホームレスの人に住む場所を提供した方もおられるでしょう。これらは、小さな奉仕の機会だったかもしれませんが、大規模なプロジェクトだったかもしれません。奉仕を定義するのは、奉仕の規模だけでなく、奉仕に対する姿勢です。

ガンディーはかつて、電車に乗ろうとしたときに、電車が動きだして片方のスリッパを落としてしまいました。ガンディーはとっさに、スリッパが落ちたところをめがけて、もう片方のスリッパを投げました。彼と一緒に旅行していた友人は、こう尋ねました。「なぜ投げたんだい?」。ガンディーはこう答えました。「あのスリッパを誰かが見つけるだろう。片方だけでは役に立たないから、もう片方も投げたのだよ」。これはささやかな奉仕の行為ですが、その姿勢は見事だと思います。私たちは、自分よりも先に人のことを考える心構えがあるでしょうか。ロータリアンである私たちにとって大切なのは、それだけです。

ロータリアンが過去35年間にポリオ根絶や人類への奉仕のために数十億ドルもの資金や多大なボランティア時間を費やしてきた理由に、それ以外のことがあるでしょうか。何千という学校や 何百という病院を整え、干上がった村に水を提供し、家庭にトイレをつくって尊厳を取り戻し、何 万という子どもの心臓手術を通じて命という贈り物をしてきた理由に、それ以外のことがあるでしょうか。ロータリアンが奉仕し続けるのは、人びとの人生を豊かにしたいという願いからです。ネ パールでのあるプロジェクトでは、数千人もの人生がより豊かになり、アフリカでの家族保健プログラムと、ハイチでの水プロジェクトでは、それぞれ一千万人以上の人生がより豊かになりました。私の母国インドでは、識字と教育のT-E-A-C-Hプログラムで、何百万もの子どもの人生にインパクトを与えました。

皆さんの多くが、このような奉仕プロジェクトで大切な役割を担われ、人びとの人生をより豊かに してきたでしょう。奉仕のニーズがあるからこそ、皆さんは奉仕してこられたのです。今日、奉仕 のニーズはさらに高まり、明白になっています。ですから、変革者であるガバナーの皆さん、来るロータリー年度には、人びとのために奉仕し、その人生をより豊かにするために援助していた だけけるよう、切にお願いいたします。この理由から、2021-22年度の私たちのテーマは、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」(Serve to Change Lives)といたします。

皆さんご自身が模範を示し、持続的なインパクトをもたらすプロジェクトへのロータリアンとローターアクターの参加意欲を引き出してください。ほかのロータリアンや、他団体、企業と手を取り合 い、地域社会にインパクトをもたらすプロジェクト、国や世界の人びとの人生を豊かにするプロジェクトを実施してください。ガバナーとしての役目が終わるとき、皆さんは、ご自身のリーダー シップ、ご自身がロータリアンとローターアクターに与えたインスピレーションのおかげで、会員 による奉仕を通じて世界が前よりもっとよくなったと感じるはずですよ。

奉仕するとき、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになります。インドの偉大な思想家の 一人であるヴィヴェーカーナンダは、こう言いました。「誰かを助けるとき、その人に恩を施して いると考えないでください。実際には、その人たちがあなたに恩を施しているのです。私たちが 世界から授かった恩恵への恩返しをする機会を与えてくれているのです」。ヴィヴェーカーナンダはさらに、次のような見事な言葉を加えました。「人生では、与える者、奉仕する者になりなさい。ただし、与えるときも奉仕するときも謙虚になり、ひざまずいて『与えさせていただけますか』『奉仕させていただきますか』とお願いする気持ちになりなさい」

ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人生の最高の生き方です。アルバート・アインシュタインが言ったように、「誰かのために生きてこそ、人生には価値がある」のです。



奉仕イニシアチブに取りかかるにあたり、次年度の焦点は「女子のエンパワメント」となります。ロータリーの中核的価値観の一つは「多様性」です。ロータリーのDEI(多様性、公平さ、開放性) に対する信念を表した公式声明もあります。

多くの場合、女子は不利な立場に置かれることが多く、私たちが女子のエンパワメントに取り組むことが重要です。ロータリーはすべての子どもに 奉仕しますが、特に「女子」に焦点を当てます。世界各地で女子は多くの問題に直面しており、リーダーである皆さんは、こうした女子が抱える問題にロータリーが取り組み、それを和らげるよう導くことができます。

「もっと行動し、もっと成長する」ための会長イニシアチブが計画されています。世界各地で、7 つの重点分野に焦点を当てた7回の会長主催会議が開催されます。また、すべてのロータリー クラブとローターアクトクラブが、ロータリアンとローターアクター、そして一般市民の参加を促すための「ロータリー奉仕デー」を実施することができます。ご自宅に最も近い場所で開催される 会長主催会議にご参加いただくとともに、「ロータリー奉仕デー」に参加するよう全クラブに呼び かけてください。ローターアクターとインターアクターにも参加してもらいましょう。ロータリークラブによる何千もの「ロータリー奉仕デー」を通じて、ロータリーの活動を世界に紹介しようではありませんか。

変革者であるガバナーの皆さん、ポリオ根絶活動、新型コロナウイルスとの闘い、大きなインパクトをもたらすプロジェクトに取り組む、かつ会員数を史上初めて130万人にするという課題は、 チャレンジに満ちています。このチャレンジに、皆さんの意欲は駆り立てられるでしょう。挑戦に 立ち向かうのがロータリアンだからです。船は港にいれば安全ですが、船の目的は港にいたることはありません。海に出てこそ、船の目的が成就されます。変革者の皆さん、人生とは冒険であり、メンテナンスではありません。

最後に、テーマについて私が書いた詩をご紹介します。授けられた最大の贈り物は 誰かの人生に触れる力 変える力 違いをもたらす力 めぐりゆく命の中で手を、心を、魂を差し伸べるなら 魔法が起こる 歯車が回りだす... とともに歯車を回そう 全人類の繁栄のために 私たちには力と魔法がある 奉仕しよう... みんなの人生を豊かにするために...

皆さんがどこでこの演説をお聞きになっても、ここで皆さんに、胸に手を当て、私と一緒に 宣誓していただきたいと思います：

「私たちには、奉仕し、みんなの人生を豊かにする力と魔法があります」

変革者の皆さん、準備は整っていますか？大きなチャレンジに立ち向かう準備ができていますか？奉仕する準備ができていますか？みんなの人生を豊かにする準備ができていますか？

私は準備ができています。皆さんも同じでしょう。ともに奉仕し、みんなの人生を豊かにしていこうではありませんか。